

# こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp



令和2年度

## 新潟市公民館事業の基本方針

令和2年度の新潟市公民館事業の基本方針及び基本施策が示されましたので、概要をお知らせします。

### 〔基本方針〕

- (1) 社会の変化や市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実  
社会状況の激しい変化に対応できるように、子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。
- (2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上  
学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。
- (3) 自信をもって自己実現していける市民の育成  
人とのかわりの中で互いに考えを伝え合い合意形成を図るなど学習者の自己肯定感を高めるような学習機会の提供を通して、変化の激しいこれからの社会で自己実現していくことができる力を高めます。
- (4) 学びの循環を活かした地域コミュニティの形成・活性化への支援  
学びを通して、地域の課題・生活上の課題を把握し、解決に向けて取り組むことで、地域での絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。
- (5) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援  
家庭における教育力向上の支援  
青少年の生き抜く力を育む機会の充実  
高齢者の学習支援や社会参加の促進  
現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

### 〔基本施策〕

- (1) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援
  - (2) 家庭における教育力向上の支援
  - (3) 青少年の生き抜く力を育む機会の充実
  - (4) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
  - (5) 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供
- ※それぞれの項目に対する小須戸地区公民館の具体的な事業名と事業目的などは、下表のとおりです。

## 令和2年度 事業計画

基本施策	No.	事業名	事業の目的・主旨	実施予定月
(1) 人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援	1	にいがたボケ1スリッパ卓球大会	スリッパ卓球による新潟市内唯一の大会（競技7種目）	令和3年3月
	2	庭木剪定講習会	庭木剪定を学び、各家庭をきれいにすることで、輝くような街並みをつくる	6月
	3	花いっぱい運動	花の植栽作業による学校・地域団体の連携強化	5～11月
	4	門松づくり	地域住民の指導による門松づくりを通して、子どもたちに新たな学びの機会としての社会活動を促す	12月
	5	体験！ ニュースポーツ入門	三世代で様々なスポーツに挑戦	通年
(2) 家庭における教育力向上の支援	6	家庭教育講演会	園児の保護者を対象にした家庭教育向上の講演会及び子育て情報交換	11月
	7	おいしい楽しい小須戸お花塾	「花と緑のまち小須戸」ならではのお花を使った「花育」と、おやつ作りを通して「食育」を小学生と親または祖父母で学ぶ	未定
	8	やってみよう科学実験	科学実験を通じて子どもたちが自ら考え創造する力を育む	8月
(3) 青少年の生き抜く力を育む機会の充実	9	夏に負けないスポーツ体験	夏休み期間中、学童のみまわり児童を対象に、狭い館から出て体を動かすスポーツ体験を実施する	8月
	10	こども考古学体験教室	長期の休みを利用した子どもの体験学習	8月
	11	高齢者健康塾	高齢者が元気で社会と関わりをもつように促すとともに、生きがいを持てるようにする	令和3年1～3月
(4) 高齢者の学習支援や社会参加の促進	12	ブチ書道教室	社会生活において筆を使う場面は少なくない。ビジネスマナーの一環として書道を学ぶ	11月
	13	ペットと防災	防災の話や動物の応急手当の方法、避難の疑似体験を通じて、避難所でのペットとの生活がどのようなものかを学ぶ	未定
	14	健康教室	区役所健康福祉課保健師と連携した健康教室	11月
	15	新津南高等学校開放講座	土曜日開催、新津南高校で教諭による教養講座と実技指導	9～11月
(5) 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供	16	小須戸地区市民展	地域住民による作品展示	10～11月
	17	小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表会	11月
	18	小須戸地区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る	11月
	19	こすど地区公民館報の発行	公民館や地域の明るい話題や情報を紹介	通年

※状況により実施できない場合もありますのでご了承ください。

### 職員交代

よろしくお願ひします

新公民館長 畠山 仁嗣(はたけやまひとし)



四月から木村前館長の後任として館長を務めることになりました。公民館業務は初めてですが、地域の状況を把握することも、皆様からご理解、ご協力をいただきながら、生涯学習の支援ができるよう努めてまいります。

### お世話になりました

前公民館長 木村 聡

一年という短い期間でしたが、お世話になりました。初めての公民館勤務でしたが、頼りになるスタッフや、コミ協をはじめ温かい地域の皆様の助けで、充実した日々でありました。心からの感謝とともに、皆様の益々の活躍をお祈りいたします。

### お世話になりました

前公民館職員 八木 千枝

温かい小須戸の皆様に支えられて、通算七年間、務めさせていただきました。この間、皆様より賜りましたご厚情に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

### オカリナ

#### 私の退職後の過ごし方

大関 良子さん(小須戸)

退職後、秋葉区の食生活改善推進委員と運動普及推進委員となり、五年。老後の楽しみとして、前から興味があった「茶道」「紙クラフト」そして「オカリナ」の教室に月二回ずつ通い、毎日楽しく忙しく過ごしています。オカリナは楽譜が全く読めず、心折れそうな時もありましたが、加藤先生や教室の皆さんに教わりながら、一曲でも吹けた時は、この年でも何かやれば出きる喜びを知りました。発表会やまちセンでボランティアの合奏をした時などは、大変幸福感を味わっておりまして。皆さんも、私たちと一緒にオカリナをしてみてください。

### お知らせ

今月号より新潟市の環境調達基準に基づき紙質が変更となりました。

編集委員の つぶやき

「かっちしねんか～」なんて言葉を知っていますか？死語になっているのか、聞かなくなって数十年はなる。小須戸ことばがどんどん消えてしまっているのが、それとも様々に変化しているのだろうか？時々そんな事を思っている。(ふ)

# 2月の公民館事業を終えて

## ●おはよう朝ごはん料理教室



ポリ袋に入っているお米(75g)に水を入れて空気を抜く工程



ふやかしたじゃがりにきゅうりとハムとマヨネーズを混ぜる工程

今年度6回目となった「おはよう朝ごはん料理講習会」が、小須戸中学校1年生を対象に2月17日(月)に行われました。実習のテーマは「サバイバル食」として、ポリ袋を使って①ごはん②野菜スープ③お菓子のじゃがりこを使ったポテトサラダづくりに行いました。まず初めにお米を洗い、1人当たり75gのお米をポリ袋

に入れて、水を入れて空気を抜いてしばって、沸騰したお湯に20分間入れました。次に野菜スープ作りは、キャベツを手でちぎって細かくし、ポリ袋にもやしなどのその他の食材と水と味付けのため昆布茶を入れて、空気を抜いて口を結んで、沸騰したお湯に入れ、じゃがりに沸騰したお湯を容器の半分ぐらい入れて



出来上がったごはんとおもてなしサラダ

ふやかします。その後スプーンでほぐして、切ったきゅうりとハムとマヨネーズを入れて混ぜます。調理を始めて、1時間程度で3品作ることができました。ごはんは野菜スープについては、災害時を想定して、ポリ袋を茶碗に入れて、結んだ口を切って洗ったお湯を出さない体験もしました。指導員は、朝食の重要性について、中央公民館から送られてきた



生徒代表からサバイバル食の意義と食事のバランスについて学んだと挨拶がありました

パンフレットを用いて説明をしました。終わりに生徒の代表から、食生活改善推進員にお礼が述べられました。なお、3月1日(日)開催予定だった「第11回いがたボケースリッパ卓球大会」および3月19日(木)開催予定だった「高齢者健康塾(笑いヨガ)」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむなく中止となりました。



## 「おはなしのせかいへ」

語りと絵本の読み聞かせ  
どなたでもおいでください

◆日時：毎月第3土曜日 10:30～11:00

◆会場：小須戸まちづくりセンター 1階保育室  
(申し込み不要、直接会場へお越しください)

◆令和2年度の予定について

- 5月16日 6月20日
- 7月18日(※こわいおはなし会)
- 8月22日(休館日のため第4土曜日) 9月19日
- 10月17日 11月21日 12月19日(※クリスマスおはなし会)
- (令和3年)1月16日 2月20日 3月20日



※参加者には秋葉区共通の「よみきかせカード」にスタンプを押します。スタンプがたまると、すてきなプレゼントがもらえます。7月12月はスペシャルプレゼントがあります。

◆主催：新潟市立新津図書館

◆読み手語り手：「おはなしほけっと」(読み聞かせボランティア)

## 公民館事業「地域学講座」から自主サークルが立ち上がりました!!

「語り継ぐ小須戸の文化」を5年に亘り開催しました。5年間共に学びあった方々の中から、今後もこの学びを発展的に継承していこうという声上がり、自主サークル「こすど史楽会」(会長木村宗文さん)が立ち上がりました。

※連絡先(義和均さん 電話：080-6529-5363)

## 小須戸地区図書室 新刊案内

### 【一般書】

- ・暮らしを楽しむ、台所。(尾崎真佐子/編)
- ・世界一美味しい手抜きごはん(はらぺこグリーゼ)
- ・黒島の湖(宇佐美まこと)
- ・魔術はささやく(宮部みゆき)
- ・気がつけば、終着駅(佐藤愛子)
- ・老人流(村松友視)
- ・高齢者施設の費用・選び方・手続きのすべて(岡本弘子)
- ・58歳から日々を大切に小さく暮らす(ショコラ)
- ・その男1〜3(池波正太郎)
- ・熱源(川越宗一)
- ・まったく、青くない(黒田小晋)
- ・山岳捜査(笹本俊平)
- ・国道食堂1st season(小路幸也)
- ・てしごと(あさのあつこ)
- ・インタビューズ(堂場瞬一)
- ・騒がしい楽園(中山七里)
- ・まずはこれ食べて(原田ひ香)
- ・老人初心者の覚悟(阿川佐和子)
- ・100歳まで元気でボケない食事術(堀江ひろ子)
- ・通園通学グッズ大集合!(佐伯瑞代/編)

### 【児童書】

- ・おにぎりをつくる(高山なおみ)
- ・ちらしずし(はまのゆか)
- ・はじまりはたき火(まつむらゆりこ)

## 秋葉区健康福祉課 「健康ひとロメモ」

### 2020年4月～2021年3月末までに 特定健診・がん検診を受けましょう!

<2016年度 小須戸中学校区健康データ>

※国保+後期高齢+協会けんぽのデータ

- 健診受診率：42.8%  
(市内56中学校区中、4番目に高い)
- 血糖要指導率：50.8%  
(市内で秋葉区が1番高く小須戸中学校区はそれを上回っている)

みなさんの健康状態はいかがですか?

- 市の受診券を使うと特定健診は  
60歳以上の方：無料  
40～59歳の方：500円  
で受けることができます。

○詳しくはお手元に届いた「各種検診のご案内」、社会保険の方は保険証の発行元にご確認ください。

<お問い合わせ先>

秋葉区健康福祉課健康増進係  
0250-25-5686



## 文芸欄

短歌	川柳	俳句
春の気配で葉と茎の種芽を出して 振り忘れとチューリップの種芽を出して 春の気配で葉と茎の種芽を出して 振り忘れとチューリップの種芽を出して	雪割草かれんな姿うっとりし 良かたの期待の春に報われる 花の芽に期待して桜に会えるから 春が好きだって桜に会えるから ひよっ子が飛び立つ晴れの入学日 冬囲いとかれうれしい庭の木々 頼もしい大卒孫の初出社	啓誓や忘中の札に降る小雨 ウイルスに戦々恐々寒戻る 春色の口紅もらふ誕生日 春の宵天神様の軸飾る あれこれと思ふ探梅老い二人 水仙の背すぢ正しき自戒かな 猫柳弥彦角田は晴れ渡る
こみけ	奉和	熊倉
玲	保科	佐久間
高橋	増井	吉田
キヨ	都留	風間
久保みね子	能登	吉澤
	保科	中間
	志枝	野野
	会田	馬場
	修	本多
		綾
		玲
		子

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、4月20日(月)までに小須戸地区公民館へ。  
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)

## 新入学児童へ防犯ブザー贈呈

小須戸コミ協は秋葉警察署防犯協会の協力を得て、毎年小須戸小学校へ入学する新一年生へ防犯ブザーを贈呈する活動を続けています。これは地域全体で子供たちを見守り、子供たちの登下校の安全を確保するための取り組みです。

また、コミ協の防犯部会は「こすどっ子見守り隊」というボランティアさんたちと一緒に、普段の生活の中で児童の登下校の見守りを行う活動を行っています。4月は新入学児童の下校ボランティアとして、一年生と一緒に下校します。見守る目が多いほど、犯罪は起きにくくなります。地域の皆さまも犬の散歩や農作業などをしながら子供たちの安全を見守っていただきたいと思います。



新入学児童に贈呈される防犯ブザー



「こすどっ子見守り隊」による1年生下校ボランティア

## 矢代田小学校卒業生にパイナップルのプレゼント!

3月24日、矢代田小学校の卒業生38名に、小須戸温泉健康センター花の湯館と山の手コミ協が協力して、パイナップルを送りました。中国では、吉祥の鳥 鳳凰の尾羽がパイナップルの葉の形に似ていることから、縁起の良い果物とされているそうです。新型コロナウイルスの影響で、3月は学校が休業、卒業式は縮小となってしまいましたが、そんな中でも卒業をお祝いしてあげたいという地域の思いから実現しました。卒業生一人につきパイナップルが2個配られ、1個は葉一枚一枚に将来の夢や目標等を書いてもらい、もう1個はご家庭で食べていただけるようお持ち帰りしてもらいました。

卒業生がコメントを書いたパイナップルは、3月28・29日に花の湯館の湯船に浮かび、甘い香りとともに来館者を癒してくれました。



## 山の手コミユニティ協議会

## お知らせ

5月11日の「地域の茶の間こすど」は新型コロナウイルス感染拡大防止ためお休みします。